

牧地区の栗栽培

川瀬 和博さん (64歳)



栗栽培の魅力をお教えください

もともと果樹を栽培することに魅力を感じていました。苗木から実がなるまで成長を見守るうちに愛着がわくのが魅力だと思います。



どんな品種の栗を栽培していますか

栗生産組合では7種類の品種を生産しています。川瀬さんは、代表的な品種である早生の丹沢、中生の筑波、遅生の石鎚の3品種を栽培しています。石鎚は完熟すると先に実が落ち、その後イガが落ちるとい特徴があり、栗拾いしやすい品種です。今年には高温と日照不足のため例年に比べるとサイズは小粒ですが、良い時は1反あたり300kg程の収量があります。



栗栽培で大変なことを教えてください

1月から4月上旬までの冬場、雪が積もっている時に剪定作業が必要なことです。

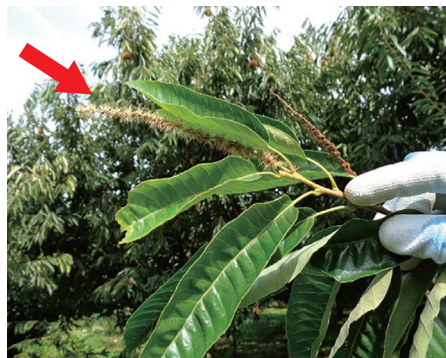
また、サルやイノシシの被害があります。サルは人を怖がらなくなっていますし、イノシシは栗のほかに山百合を掘り起こして食べるので、掘り起こされた土地がボコボコに荒れてしまい、草刈りなどの農地の管理がとても大変です。

美味しい栗の見分け方と食べ方を教えてください

栗は鮮度が命です。見た目にツヤと張りがあるものを選んでください。

しつかり茹でる事で美味しくなります。水から茹で始め沸騰してから1時間程しつかり茹でてください。

小粒の栗は栗ご飯によく合いますし、大粒の栗は丸ごと渋皮煮にすると美味しいです。そのほか、鬼皮のまま薄切りにして揚げる「栗チップス」は、おやつやおつまみにピッタリですよ。



栗の花を見たことはありますか  
白い花を咲かせます

編集後記

最近「ウイズコロナ」の行動様式も定着してきており、各種研修会も開催され始め、農業委員就任一年目で数多く参加させていただき、人との交流の大切さを感じました。

農家の皆様と農業委員、推進委員が一丸となり、より良い五泉の農業を築きましょう。

編集委員 高橋 喜美子